

雑品倉庫

第70号



入園したばかり。襤褸(ぼろ)、裸足、不安と期待と諦めと、照れくささと、微笑と。(門柱にて)昭和23年頃



ここにも亦、平和と敬虔と
休みなき精進とがありはしないか

社会福祉法人唐池学園協力会
令和3年7月発行

写真は、昭和27年9月28日発行の「おぎめし学園
(前理事長鶴飼正男先生著)」に掲載された藤沢市
善行に施設があったときに撮影されたものです。

社会福祉法人唐池学園の各施設の所在地等



法人本部・児童養護施設 唐池学園

所在地：〒252-1124 綾瀬市吉岡 2377-口

電話：0467-78-0012／0467-78-0514、FAX：0467-76-3006

施設認可年月日：昭和24年4月1日、定員：45名

グループホーム「なの家」・「よんの家」定員：各6名



児童養護施設 強羅暁の星園

所在地：〒250-0408 足柄下郡箱根町強羅 1320-203

電話：0460-82-2853、FAX：0460-87-7275

施設認可年月日：昭和22年6月19日、定員：50名



乳児院 ドルカスベビーホーム

所在地：〒252-1124 綾瀬市吉岡 2380-2

電話：0467-78-1054、FAX：0467-70-3827

施設認可年月日：昭和44年4月1日、定員：25名



保育所 つぼみ保育園

所在地：〒252-1107 綾瀬市深谷中 5-20-48

電話：0467-78-0641、FAX：0467-79-2908

施設認可年月日：昭和42年5月1日、定員：110名



保育所 吉岡保育園

所在地：〒252-1124 綾瀬市吉岡 1980

電話：0467-78-4324、FAX：0467-78-4365

施設認可年月日：昭和50年4月1日、定員：60名



障害者支援施設 貴志園

所在地：〒252-1124 綾瀬市吉岡 2381-1

電話：0467-78-4178、FAX：0467-79-5119

施設認可年月日：昭和49年9月1日

定員：入所30名 通所40名、グループホーム設置

総合支援法による、共同生活援助（グループホーム）、生活介護事業、就労継続B型事業、就労移行・定着支援事業、放課後等デイサービス事業、相談支援事業、自立生活援助事業を行っています。

また、綾瀬市から、基幹相談支援センター、委託相談支援の委託を受けています。

「目次」

- 役員寄稿「ケース検討会を通して学んだこと」 P 1
- シリーズ連載「千鳥足の価値観」 P 2
- シリーズ連載「野の花のこと」 P 3
- 法人 PR「私のお気に入り」 P 4
- 職員寄稿「自然との関わりの中で学ぶもの」 P 5
- 施設の紹介
 - （ 児童養護施設 唐池学園（P6）、児童養護施設 強羅暁の星園（P7）
 - 乳児院 ドルカスベビーホーム（P8）、つぼみ保育園（P10）、
 - 吉岡保育園（P11）、障害者支援施設 貴志園（P12）
- 令和3年度新任職員紹介 P 15
- バックナンバー紹介「ある頭の古い施設長から民間従事者へ一言」 . . . P 16
- 令和2年度決算報告(法人単位貸借対照表) P 18
- 協会の会費・寄附金をくださった方々の紹介 P 19
- 令和3年度イベントのお知らせ P 20
- 役員等名簿・編集後記・読者プレゼントのお知らせ P 21
- 裏表紙「各施設の所在地等」



第70号刊行に寄せて

唐池学園協力会 会長 高松 邦夫

昨年来、世間を騒がせている新型コロナウイルス感染症の勢いが収まらず、テレビ画面越しに会議をしたり、マスク越しで会話をしたりしないといけない事態が続いています。どの仕事でもそうだとはいいますが、福祉の仕事は特に人と人との対面がとても重要です。子どもや障がいをお持ちの方に、画面越しで唐池学園が最も大切に「心(ハート)」を伝えるのは困難だからです。そのような中、現場の職員による様々な工夫で、感染を防ぐ努力をしていることには本当に頭が下がる思いです。

さて、今回の第70号刊行は、その通刊号数とともに大きな節目を迎える号となりました。

昨年、『雑品倉庫』の名前の由来や意味について寄稿していただいたドルカスベビーホームの摩尼園長が、今春48年間勤めた施設を退職されました。唐池学園にいつも居て当たり前だと思っていた方がお辞めになると聞き、寂しさを感じつつ、長年の感謝を何か形にしなくてはと思いました。

そこで鶴飼理事長と相談し、摩尼さんに「ありがとう」を伝えるために特集号の掲載を提案しましたが、「私のことよりも、他の方のことや施設のことを載せてください」と断られてしまいました。自分のことよりも他の人のことを大切に考える…そんな摩尼さんの人柄が表れていると感じました。

お世話になった職員諸氏・関係各位の紙面に表せなかった感謝は、皆の心の中にあります。

摩尼さん、長年のお勤め、本当にお疲れ様でした。

役員寄稿

ケース検討会を通して学んだこと

理事（貴志園園長） 富岡 貴生

貴志園では、知的障害者入所施設として開設した昭和49年から、毎月第三土曜日にケース検討会（職員の勉強会）を開催しています。この検討会が行われるようになったのは、貴志園初代園長である佐藤献先生の強い希望によるもので、開設に当たって、様々な問題行動を起こしてきた人が貴志園を利用するため、勢い管理的側面が強くなるところを最小限に抑え、普通の人と同じように生活が送れるようにしたいと考えていた中で、問題への対処方法についての助言が欲しいと、精神科医である大橋先生に依頼したことがきっかけです。

大橋先生は、当初は問題を起こした利用者に個別に面接し、担当職員の相談にのるなどしていましたが、それでは到底間に合わず、思案の末、全職員を教育して支援力を高めていくことに力点を置いたケース検討会を先生の指導の下で行われるようになりました。

ケース検討会では、利用者の生活歴、家族歴、支援課題、支援経過を担当職員が発表します。参加者と先生が随時質問し、担当職員が答えていくやり取りを通して、最後に先生が病理や担当職員の支援の問題点、今後の支援の工夫等を統括します。およそ2時間の間に展開されるやり取りの中で、報告される断片的で、複雑で雑多な情報に対して、難しくない日常語を用いて簡潔に質問していき、担当職員と利用者とのやり取りを浮き彫りにさせ、混沌としたものから形のあるものへと変えていきます。ケース検討会の中で苦悩する利用者の歴史が一つの物語として導き出されていくそのあり様は、まるで、映画でも見ているようで、とても感動的ですらあります。

園では、開所以来の方針として一般就労やグループホームへの移行など、積極的に社会参加を勧めてきました。しかし、園を利用する利用者の多くは精神障害を重複し、障害の程度は中軽度で潜在的な職業能力は高くても、家族の変化、対人関係や社会環境の影響で不安定になりやすい人たちです。彼らの問題行動に対して、サービスのコーディネートや問題行動の指摘や注意だけのかかわりであったなら、決して一般就労等までには至らなかっただろうと思います。

ケース検討会での先生の指導を通して、私たちは言葉では表出されない利用者の苦悩を理解するよう努め、利用者が信頼と安心の中で自尊心を回復し、生活の主人公として自身の人生が有意義なものとして実感できるよう支援を行っています。

貴志園の歴史の一部であるケース検討会をご紹介します。その歴史の中で、かけがえのない恩師である大橋先生が、今年に入り急逝されたことは残念でなりません。

長きにわたってご指導していただいた大橋先生に深く感謝申し上げますとともに、安らかに眠られますようお祈りいたします。



有 賀 唐

今回は『雑品倉庫（70 号）』ということで唐池学園の創始者鶴飼正男が昭和 27 年に執筆した『むぎめし学園』に挿入されている写真の一部を掲載した。時系列的に言えば写真の時期は発行の昭和 27 年以前の昭和 22 年から 25～6 年頃のものだと察する。

昔からよく、「あの時代は良かった。」、あるいは「今の若い者は・・・」という言葉が口からでると大概は「歳をとった証拠だな？」と揶揄されるものと古今東西、相場は決まっているが、私も間違いなくその一人になっている。と、上述のような批判は覚悟のうえだが、今回この写真を挿入したのは、単なる主観やあの時代が懐かしいというノスタルジックなことではなく、現在の社会との比較でものを見たときに写っている子どもたちの表情が今の子ども



塔の上の爆笑三昧

たちの表情よりよほどいきいきとしたものを感じるからである。今のように物が豊かに溢れかえっている時代でなく、日々、食べていくのに精一杯の苦しい時代であったにもかかわらずである。子どもに携わる仕事



ひと月二回の自治会。発言した子にはお菓子が出る

をしていながら、その違和感は一切どこからくるのだろうかという自己懷疑がわいたからである。たかが子どもの表情一つのこと、笑顔なんかは昔も今も変わらないとおっしゃる方もおられるかもしれないが、これは感覚の世界でアイデアの世界かもしれない。

その疑問に答えを出してくれたのが、暁烏 敏の書いた『歎異抄講話』の序文のなかにある宮沢賢治の『農民芸術概論綱要』の一説である。『かつてわれらの師父たちは乏しいながらかなり楽しく生きていた。そこには芸術も宗教もあった。いま我らにはた

だ労働が生存があるばかりである。宗教は疲れて近代科学に置換され然も科学は冷たく暗い。今、宗教家、芸術家、とは真善もしくは美を独占し、売るものである。』 ― 日進月歩の科学は、合理という魔術性と便利という実効性を通じて、人間から信仰を振り払いつつある。・・・・・・・・・・。 ―

「この写真に写っている子どもの表情と宮沢賢治のこの文章がどんな関係があるのか。」と聞かれたら全く関係がないのであるが、私にはどこかで繋がっている。一文だけを切り取ってすべてを論ずることは良しとしないが、少なくともこの文章の中には私が言わんとすることを賢治が言ってくれていると、勝手な解釈をしている。楽から成長は生まれないというが、笑顔も苦しさの中から生まれるものと、楽の中から生まれる笑顔とは違う気がする。つまり写っている笑顔一つとっても、近代科学が合理や便利がもたらす正の部分もあるが、豊かさに甘えた負の失う遺産もあり、たかが笑顔一つのことであるが、その付けは大きいぞ。と言っている気がする。それも約、百年前に今の時代を予言するかのようにである。賢治の先見の明は大したものである。このように感じるのは私だけだろうか。

いわんや。福祉も近代科学に置換され真の笑顔（幸福）は埋没してはいまいか？

吉岡保育園 前園長 大塚 哲朗

前号のヘクソカズラほどではありませんが似たような名前の「ハキダメギク」をとりあげてみました。

あちこちの空き地や道端に見かける外来種の花ですが、この名前はかの有名な植物博士の牧野富太郎が 大正時代、初めて見つけたところが掃き溜めだったのでそう名付けたと言われています。掃き溜めとは今でいうゴミ捨て場のことです。植物をこよなく愛した偉大なる先生にしては少々安易過ぎてどうしても解せません。思うに、初めてこの花を見つけたとき今までに見たこともない花のようなので先生はしゃがみ込み、拡大鏡でじっくりと観察され、その可愛さにも気づかれたことでしょう。そして「掃き溜めにだってこんなにかわいい花を咲かせる草があるのだ！」との思いを込めての命名だったに違いないと思えてなりません。この時先生は「掃き溜めに鶴」という言葉を思い出されたのでは、とまで書くと「それはあなた言い過ぎですよ、恥ずかしい」と小さくなるハキダメギクさんの姿が浮かびますが、



しかしながら、ぱっと見や通りすがりでも、見て下さいとばかりに美しく咲き競っている草花は多くあります。がしかし、しゃがみ込み目を凝らして見ないとその美しさ、可愛さに気づいてもらえない草花も数多くあることも承知しておきたいことだと思います。



さて、このシリーズ、名前の話題を取り上げてきましたが、今回は素敵な名前だと思う樹木を2つ挙げてみました。1つは「ハナミズキ」大きな花弁のように見えるのは総苞と呼びます。その中心にある黄緑色のものが本当の花で20個ほどあります。これは1912年、当時の東京市長尾崎行雄がサクラの苗木をワシントン市に贈った返礼として1915年アメリカ合衆国から東京市に贈られたものです。（返礼という花言葉もうなずけます）それが今では多くの公園その他に植えられ、知らない人はいないくらい有名になりました。在来種に「ヤマボウシ」という同じ仲間の木があります。これもなかなかいい名前ですね。

最後に登場願うのは、これほどぴったりして品のある素敵な名前はないと思える木、その名も「ハナイカダ」です。この木の葉っぱは、真ん中に花や実をつけます⇒（じつは花や実の柄が主脈と合体しているため）この葉っぱが花や実を乗せて流れる様子からの命名です。まさにぴったりで素敵な風情を感じさせますね。また、



花筏には川面をサクラの花びらが静かに流れる様という意味もあるようで興味は尽きません。さて、この木にはオスの木とメスの木があるのです。（これを雌雄異株といいます。身近では「アオキ」がそうです）当然のことながらオスの木の花には果実はなりません。花は春、葉と同じ緑ですので分かりにくいかもしれませんが果実は秋、黒い球状に実りますので探しやすいと思います。この黒い果実は甘酸っぱくて食べられますし、又この若葉も山菜として利用できるようです。



最後に他にも素敵な名前を頂いている草木をいくつか紹介しましょう。誰もが知っているサクラソウとコスモス、道端によく見るハハコグサとコバンソウ、ちょっと珍しいハンカチノキ、葉や枝にさわやかな芳香をもつクロモジ、里山に普通のムラサキシキブ、ジュウニヒトエ、などはいかがでしょう。

私のお気に入り

法人本部 事務局長 勝俣 浩之

私は唐池学園に来て 4 年半になりますが、一番驚いたことは、唐池学園には善い人しかいない！？ということでした。もちろん、時に課題が生じることもありますが、それはそれぞれが一生懸命仕事に向き合っているからこそであると感じています。職員の皆さんが真剣に、このかけがえのない福祉の仕事に取り組んでいますので、私も少しでもその手助けができるように、これまで身につけてきたものを総動員して、法人運営と施設のサポート業務に取り組んでいます。

さて、そんな私の疲れを癒してくれる存在の 1 つに、貴志園のパンがあります。特に貴志園の食パン(250 円)の美味しさには、とても驚きました。どれくらいかと言うと、食パン一斤(6 枚切)を自宅にお土産に持ち帰り、既に夕食を食べ終えて満腹だという息子に「美味しいから試しに食べてみな」と言って勧めたところ、3 枚をペロリと食べてしまいました。本当はもっと食べたそうでしたが、妻と娘の分が無くなるので遠慮させました。はてさて、うまく伝わったかどうか不安ですが、お腹が一杯でも食せてしまうほどのデザート的な美味しさということです。



また、私は月に数回、ランチに貴志園(グランドール)で総菜パンと菓子パンを買います。その中でも特に気に入るのが「チョコリソー(150 円)」です。ピリリとちょい辛のチョコリソーが飛び出たパンの中には、カレーが入っています。つまり、ちょい辛×2 です。仕事中的お昼にビールが欲しくなる憎いやつです。また、菓子パンのラインナップも充実しています。

グランドールの従業員と貴志園の利用者さんが、お客様にお勧めするベスト 10 は、右の表のとおりです。ちなみに私は、甘じょっぱい「ソフトフランス大納言」もお気に入りです。

そして、一服館のお蕎麦もお勧めです。私がいつも注文するのが、「ミニカレー」がついた

1 位	食パン	6 位	チョコリソー
2 位	バターロール	7 位	チョココロネ
3 位	フレンチトースト	8 位	クリームパン
4 位	コーヒーロール	9 位	ソフトフランス大納言
5 位	べにいもっこ	10 位	チョコチップパン



C セットで、お蕎麦は冬でも冷たいざる蕎麦にします。それはミニカレーがとてもスパイシーだからです。玉ねぎがシャキシャキなのも特徴です。お蕎麦は手打ちで、このセットのお値段がなんと税込 920 円。お値打ち価格でお腹一杯になります。A セットは「ミニゆかりご飯」、B セットは「ミニ玉丼」がつきます。お値段は変わらず、お好みで 3 種類から選べるのもお勧めポイントです。他にもお勧めメニューはありますが書ききれません。そこで皆さんも是非!! 貴志園(グランドール、一服館)にいらっやいませんか? キット、皆さんにとっての『お気に入り』が見つかること、請け合いですよ♪

自然との関わりの中で学ぶもの

吉岡保育園 保育士 高田 あゆみ



令和の始まりと共に、吉岡保育園の園庭が広がり、目久尻川沿いを歩くと木登りや虫探し、四季折々の草花に触れ合いながら元気に遊ぶ子どもたちの姿が目に見えます。

完成した年の卒園児が「どんぐりの丘」と名付けてくれて、今ではその愛称で親しまれています。新しい園庭には子どもたちが出会う様々な体験や気づきの場が沢山あります。

日々、水や土、草花や生き物などの自然に直接触れたり観察したりすることで好奇心や意欲が育まれ、身近に自然とのかかわりを持つことで、どんな植物でもつぼみから花が咲き、やがて実になり、子孫を殖やそうとしていること、命あるものを大切にしようとする心や、自然のめぐりが食に繋がっていくことを遊びの中で実体験しています。

自然と関わる保育の中で、私が感じるものが二つあります。

一つ目は子どもたちの個性を存分に伸ばすことができる環境だということです。

木登りが得意な子、虫探しが得意な子、宝探しをして石や木の枝を集めて造形遊びを楽しむ子と、どんな子でも役割や出番があることが魅力だと思っています。目を輝かせて様々な遊びを楽しむ姿を見て、子どもたちの想像力に驚かされています。

もう一つは、子どもの興味や感覚を刺激するものがたくさんあるということです。

試したり、考えたり、友達と力を合わせたりして経験を重ねることで主体性や自主性、達成感が育まれているように思います。

近年、子どもを取り巻く自然環境の減少が懸念されていますが、身近に豊かな自然があることは本当に幸せだと思います。保育士として感動したり面白さに気づいたりできる感性と、自然への感謝の心を大切に、子どもたちがゆったりと活動し、じっくり考える時間を保障する環境づくりを続けていきたいです。

いまの生活に必要なもの

児童指導員 齋藤 一樹

新型コロナウイルスが流行してから1年以上が経った。初めてこのウイルスのことがニュースで報道された時、私はまだどこか他人事のように感じていた。だがその後ウイルスはあっという間に全世界に広まった。外出自粛が叫ばれるようになり、仲の良い友人と気軽に会うこともできなくなった。



今まで当たり前だと思っていた毎日が当たり前ではなくなっていった。

子ども達も同じようにこのウイルスの影響を受けている。ウイルスの流行に伴い、学校は3ヶ月近く休校になった。今まで楽しんでいたカラオケや映画など、屋内での遊びも制限をしなくてはならなくなった。毎年実施してきた唐池祭等の園内行事のほとんどは中止になった。体調不良者が出れば、園内の遊びも制限しなくてはならない。かなり窮屈な生活を送ることを子ども達にお願いすることになった。子ども達からはもちろん不満の声も上がったが、こちらがお願いをしたことを破ってまで飛び出して遊びに行く子はほとんどいなかった。いろいろな思いや我慢がありながらも、この状況を子ども達なりに納得しているように感じた。

制限が多い生活の中で、何か子ども達に楽しんでもらいたい思いから、昨年の秋と今年の春に小さなお祭りを開いた。屋外で食事やお菓子を並べて子ども達にふるまったり、ミニゲームやクイズ大会を実施した。今までも似たようなお祭りを開催したことがあり、同じことの繰り返しのような形だったが、子ども達は以前と同じように笑顔で楽しみ喜んでくれた。

私たち大人は、今の生活に窮屈を感じ、やりたいことができないと嘆くことが多い。しかし、子ども達はその時々で楽しいことを見つけ、全力で楽しんでいる姿が印象的だ。子どもの頃は持っていたはずなのに大人になると忘れてしまうこの感覚は、今の毎日を楽しむために必要なものだと感じた。新型コロナウイルスはまだ終息する気配はないが、これからも遊び心を忘れずに毎日を過ごしていきたいと思う。



「一年目を終えて。」令和2年度採用職員からの一言

一年を振り返ると、とてもあっという間だったと言うのが正直な感想です。二年目も気を抜かずさらなる成長をしていきたいです。(山下直之)

日々成功や失敗を積み重ね、子ども達と信頼関係を築いている途中です。今後も様々な事に挑戦していこうと思います。(堀口奈津子)

入職してから戸惑いもありましたが、子どもたちの「おいしかった」という言葉に嬉しさも感じる事ができました。今後もより良い食事が提供できるよう、頑張ります。(橋本佳美)

あっという間に一年が経ちました。これからもたくさん学び成長し、笑顔になれる食事を作りたいと思います。(田村舞奈)

コロナ禍で、学園で過ごすことがほとんどでした。そのような環境だったからこそ子ども達と関わる時間が濃く、日常の些細な出来事が良い関係作りに繋がったと思います。(本間ありさ)

～コロナ禍の愉しみ～

家庭支援専門相談員 名川 壮平

“外出自粛”という子どもにとっては過酷な現実で始まった昨年度、休校期間は出口のないトンネルそのものでした。施設内でもマスク着用や除菌、移動制限など対策を強いられる中、子どもと職員で過ごし方の工夫を凝らし、園庭で全力バレーボール大会(職員突き指続出)、逃走中(職員黒スーツにサングラスで疾走肉離れ)、箱根町民対象、経済回復のための箱エールクーポンを利用した町内ホテルでの宿泊体験などの企画で「退屈しない日々づくり」を目指しました。With コロナの日常が定着しても「愉しみ」を忘れず子どもと歩んでまいります！！



令和2年度 採用職員のコメント

～振り返って…1年目に掴んだもの～

・子ども一人一人との距離感です。怒っている際は距離を置いたり、子どもが今、何を伝えたいのかを考えたりすることで距離感を掴むことが出来ました。(勝又 悠帆)

・自己分析力です。暁の星園にきて、自分の苦手な事に向き合い自他共に考える事が増え自己分析力が得られました。(田口 紗也佳)

・各自の背景を抱え自分の置かれた環境の中で逞しく生き抜く子ども達の笑顔に感動!! それを支える職員の献身的な愛と努力に乾杯!! 児童・職員の人格を尊重した看護を目指します!! (財原 綾)

・日頃の些細な不安や困り感を親身になって聞いて下さり助言を頂ける先輩や同僚に支えて頂きながら1年経ちました。新社会人1年目で掴めたのは、職場の仲間です。(橘くるみ)

・「子ども達が笑顔で過ごせるように」と考え入職しましたが、日々過ごす中「一緒に遊ぼう」と誘われる事が多く、「大切なのは子どもと一緒に楽しむ事」だと感じました。(西尾 知華)

・不安と期待が入り混じる中スタートし、理想と現実の違いに戸惑う日々にとっても苦しみました。しかし、子どもの「笑顔」を励みに頑張ることができました。(堀之内 利美奈)

・自分自身の子育てを振り返りながら、「ああしてあげれば良かったなあ」という後悔を感じ、逆に園の子どもに「こうしてあげれば良いんだ」という発見は楽しみの連続です。子どもの笑顔を楽しみに勤務していきたいと思っています。(小野寺 留美)

ドルカスベビーホームとわたし

施設長 矢内 陽子

私とドルカスベビーホーム（以下ドルカス）の出会いには短大の施設実習でした。短大で施設実習先の希望を出す時、単純に「赤ちゃんに関わりたい」という理由だけで希望しました。お恥ずかしい話ですが、当時の私は「乳児院」についてよく理解もしていませんでした。実習は3週間という長い期間でしたが、乳幼児と接しながら楽しくあっという間に過ぎていきました。（緊張感が足りなかったぐら

いかもしれません・・・）

3週間をドルカスで過ごす中で働いている職員が皆生き生きとしていることがとても印象的で、私もドルカスで働きたい！と思いその気持ちをすぐに伝えました。その時は求人がないということでしたが、数か月後に急に求人がでたということで電話があり、念願のドルカスに就職できることになりました。

入職当時の私は世間知らずで学生気分が抜けず、手のかかる新人職員だったと思います。実際、手拭きタオルの洗いが悪くパートの職員さんに注意されたことを今でもはっきり覚えています。周りの職員さんは大変だったと思いますが、当の本人はただドルカスで働けることが嬉しくて仕方ありませんでした。学生時代の友人や家族にいつも「ドルカス大好き。仕事が楽しい。」と話していて「そう思えるなんて幸せだね。」と言われていました。結婚して出産した後、子育てと仕事の両立で周りから難しいのではないかと言われたこともありましたが、私自身は「子どもたちに好きな仕事を一生懸命やっている姿をみせたい」という思いがあったので、ドルカスの仕事を続けることに全く迷いはありませんでした（その他の子育ての悩みは沢山ありますが…）。

そのような思いで仕事を続けてきて気がつくと30年が経っていました。現場から事務になり、里親支援専門相談員そして里親センターひこばえの責任者と、自分のやりたいことを自分らしく取り組んでこられたのはドルカスのおかげだと思っています。実はドルカスには就職試験はなく「早いもの順」なんです。それはドルカスが子どもに対しても職員に対しても「その人をまっさらな状態で受け入れる。その人の持っている力（可能性）を信じる。」という考えが根本にあるからだと思っています。そんなドルカスだからこそ、入職当時何もできなかった私が自分の良さをいかして成長してこられたと思っています。

今年4月に大好きなドルカスの施設長になり戸惑いもありますが、「人を大切にする」というドルカスが大切にしてきた思いを忘れずに、頑張っていきたいと思っています。



～就職して1年が経ちました～

保育士 中野 朋香

元気いっぱい明るい職員に囲まれ毎日笑顔で過ごしている子どもたちを見て、私も子どもたちの笑顔をたくさん作れる職員になりたいと意気込んで就職しました。しかし実際は、自分の保育の至らなさに落ち込み、早く子どもたちの笑顔を元気にもらいたい気持ちでした。この1年間はなかなか会えていませんが、職場に行けば子どもたちと会える！と思うくらい、子どもたちが私の中心で大きな存在になっていました。就職して1年が経ちました。私の元気の源のような子どもたちに何かを教えたかな？と振り返って見ると、悲しいことにほとんど思い付きません。4月からお部屋が変わり、月齢もぐんと上がり、今までの関係のなかから子どもたちの新しい生活が始まりました。子どもたちの言動への対応に葛藤する毎日ですが、今のお部屋の子どもたちとは、よりたくさん笑顔と楽しい思い出を作れるよう、自分も成長していきたいです。

この1年間、先輩方にはたくさん迷惑をお掛けしたかと思います。これまでの経験や先輩方からの助言を生かして日々精進していきたいと思っていますので、これからもどうぞ宜しくお願い致します。



里親センターひこばえ 「ひこばえってどんなところ？」

里親センターひこばえは唐池学園法人の中の一つですが、実際どんなことをやっているのか分からない方も多いのではないのでしょうか。

今回は、ひこばえの活動の中の『里親家庭への支援』を紹介します。例えば乳児院・児童養護施設から里親家庭へ子どもが委託されたその後の関りを具体的にいうと…

里親子を対象にしたサロンを定期的に行っています。里親さん同士で自由におしゃべりでき、子ども同士も一緒に遊んで仲良くなれます。

里親さんの通院など、少しの時間子どもを見てほしい時、お預かりしています。

「こんな時どうしたらいいの？」子どもへの関わりに困ったとき、同じような悩みを抱えている里親さんたちと話をできる機会を作ります。

「小学校入学が近づいてきたけど、どんな準備が必要かな？」という里親さんには、子どもの小学校入学をすでに経験した里親さんの話を聞ける機会を作ります。



これは支援の一部ですが、ひこばえは必要な人と人をつなぐという役割が大きいかもしれません。ひこばえのことが少しイメージできたでしょうか。



里親センターひこばえ ☎046-205-6092
開所日：月・水・金・土（10時～16時）

仕事と子育ての両立

保育士 相馬 幸那

つぼみに勤めて8年目になります。

子育てをしながら朝から慌ただしい毎日です。

0歳児から自分の子どもを他の保育園に預けました。

大泣きする我が子を見て猛烈に後ろ髪を引かれながら仕事に向かっていたのですが、今では「いってらっしゃい」とタッチしたり、バイバイと手を振ってくれたり、はたまたオモチャに夢中になり「いってらっしゃい」をしてくれないこともあります。たくましくなった姿が嬉しい反面、少し寂しい気持ちが混ざっています。



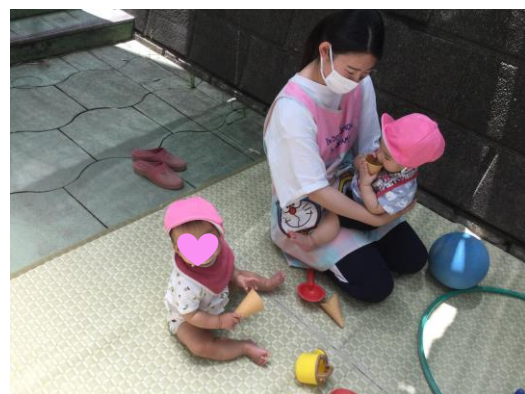
子どもが体調不良で仕事を休まなければいけない時、職場に迷惑をかけ申し訳ない気持ちでいっぱいですが、職場の先生方は「大丈夫だよ」と優しく声をかけてくれたり、働きやすい環境を作ってくれたりなど、子育てをしながら保育を頑張る事ができています。

家族やまわりの先生方に助けられ、支えられている事に感謝しながら、これからも仕事と子育てを両立しながら頑張っていきたいです。



『つぼみの卒園児でした…そして、保育士として戻ってきました』

保育士 高梨 由捺



私は幼い頃つぼみ保育園に通っていました。保育士になりたいという夢を持てたのも、お世話になった先生方のおかげだと思っています。先生方はいつも笑顔で優しく、さみしいという思いを忘れさせてくれ、毎日楽しく保育園に通っていた事を覚えています。

私もそんな保育士になりたいと思い、母園であるつぼみ保育園に保育士として帰ってきました。これからも沢山の子ども達と関わり気持ちにも寄り添い、保護者の支えになれるような保育士になりたいと思います。

栽培活動を通して豊かな食を育む

栄養士 岩内 亜矢

田畑が見渡せる自然豊かな環境にある吉岡保育園では、近隣の畑をお借りして四季折々の野菜を栽培しています。園庭には樺の大木が鎮座し果実の木々も多くあり、季節を通してたくさんの食材が楽しめます。育てた野菜や果物は、子供たちが収穫してクッキング体験や給食で利用しています。3歳以上の各クラスではクッキング体験をしますが、昨年はコロナ禍という事で通常より少ない回数となってしまいました。

現代では季節を問わず様々な野菜が販売されています。身近に生活する場で旬の野菜の栽培、収穫により採れたての野菜や果物そして調理体験での料理を食べることにより、季節と旬の食材が結びつき、豊かな感性が育つのだと感じています。今後も保育士の先生方と共にこのような食育の体験を進めていきたいです。



「一年を振り返って」

保育士 村井 奈々

4月から入職し、あっという間に過ぎた1年でした。わからないことや、困ったことがあると色々な先生方が手を差し伸べてくれ、多くの事を学ぶことができ感謝を感じています。今年一年間は、昨年学んだ事を生かしながら保育を楽しみ成長できるよう努力していきたいと思います。

「1年を振り返って」

栄養士 加藤 麻里香

この一年、子供達が成長していく様子をたくさん見る事ができ、とても実りあるものだったと思います。「今日のごはん何?」「いつもごはん美味しいよ。」と声をかけてくれる子もいて今日も気持ちを込めてごはんを作ろうとやる気がでます。私は集団調理の経験がほとんどなかったため、一緒に働いている方にいつも助けていただきました。二年目は先輩の動きをよく見て、自分でも勉強し、迅速かつ丁寧な調理を身につけていきたいです。また、子供達と話す時に少しでも食に興味を持ってもらえる話ができるように勉強も頑張り、知識を深めていきたいです。

障がい児者相談支援センターの新型コロナウイルス感染予防の取組みについて

相談センターゆいまーる 八重樫 譲

1. 障がい児者相談支援センターの事業紹介

貴志園は生活を支援するカビーナ貴志園（入所施設）とマーレ貴志園（グループホーム）、作業を支援するコペルタ貴志園（通所事業所）、相談支援をするゆいまーる（相談支援事業所）、児童を支援するにじいろ（放課後児童デイサービス）といった事業所からなる複合施設です。

私が所属する相談センターゆいまーるでは相談支援事業を中心に活動していますが、今回は、綾瀬市より委託を受けている綾瀬市障がい児者相談支援センターの事業についての紹介と昨年から新型コロナウイルス感染予防の取組について、ご報告させていただければと思います。

綾瀬市障がい児者相談支援センターは綾瀬市保健福祉プラザ内にあり、大きく3つの役割があります。

一つ目は総合相談機能です。綾瀬市内にお住まいの障がいのある方、あるいは障がい状況が疑われるものの障がい手帳を取得していない本人、もしくはご家族様から生活上のご相談をお受けしています。曜日毎に精神障がい、発達障がい、身体障がい、知的障がい、児童相談、就労相談と専門の相談員を配置し、福祉サービス利用に関すること、障がいや病気に関すること、障がい者手帳や障害者年金、成年後見制度等の制度に関すること、就労に関すること等様々な相談をお受けし、来所相談だけでなく訪問活動もしています。最近では、介護保険制度を担当する部署からも連絡があり、一緒に訪問することや、ケースカンファレンスに参加することも増えてきています。

二つ目は地域のネットワークづくりと地域課題の解決に向けた取組み機能です。地域のネットワーク作りの核となる自立支援協議会の運営や福祉サービス事業所の連絡会等を開催しています。福祉サービス事業所のみならず、市、保健所、特別支援学校、ハローワーク等の関係機関と地域課題を共有、地域課題について一緒に取り組んでいます。

三つ目は障がい者相談支援に関わる職員の人材育成です。連絡会を開催し、市内の相談員が一同に会し、ケースについての事例検討をおこなったり、他分野の専門家を招いて、障害者年金制度、介護保険制度等の研修会をおこなったりしています。



写真（相談支援連絡会メンバー）

2. 地域の事業所と一緒に取り組んだ新型コロナウイルスの感染予防の取組み

新型コロナウイルスの第一波、初めての緊急事態宣言のあった令和2年4月、当時は、未知のウィルスに対して社会全体がパニック、マスクや消毒液も不足し、県外の入所施設ではクラスターが発生するなど非常に不安感の強い時期でした。市内には社会福祉法人が運営する入所施設が3カ所あり、

法人規模も大きく看護師が配置されていますが、法人母体が小さい小規模のグループホームも多数あります。国や神奈川県より感染予防対策や事業の運営基準の緩和策等の情報が矢継ぎ早に流れてきましたが、膨大な量であり、必要な情報をとることができない事業所もありました。

さらに感染予防品が不足している現状もあり、市内の入所施設、グループホームの管理者に集ってもらい、感染症対策の実施状況や感染予防品の不足状況の確認、万が一感染者が発生した場合、相互の応援体制について協議をしました。感染者が発生した場合のガウン、マスク、消毒液、フェイスガードが不足していることが確認され、多少余裕のある事業所や障がい福祉課からも供与してもらい障がい児者相談支援センターに不足品を集約、不足している事業所へ提供する活動をおこないました。

また、この会議からグループホームには看護師の配置義務がないことから、感染予防に苦慮していることも明らかになりました。

こうしたことから5月には、市内グループホームの職員を対象とし、「新型コロナウイルス感染症予防学習会」を貴志園で開催しました。貴志園で発熱者が発生した場合の一時静養隔離室の見学、ゾーニングの方法、ガウンテクニック、感染症の基礎知識について、障がい福祉課の保健師と貴志園の看護師にレクチャーしてもらう場を作りました。8月には、通所事業所の職員まで対象を拡げ、綾瀬市保健感染予防のための勉強会を開催、それぞれの事業所の感染予防の取組事例を報告してもらい、不足していることがあれば互いの取組みを参考に進めてもらうよう働きかけもおこなってきました。

令和3年11月には綾瀬市が市内の入所、入居サービスをおこなっている介護施設や障害者支援施設の職員を対象に、新型コロナウイルスの検査費用の助成を開始することになり、助成についての説明会の開催、令和3年3月には新型コロナウイルスワクチン接種についての情報交換等もおこなってきました。



写真（新型コロナウイルス感染症予防学習会貴志園見学の様子）

3. おわりに

先の見えない闘いですが、新型コロナウイルス自体も変化し、感染力も強いとこの事業所で陽性者が発生してもおかしくない状況です。発生してしまった時に、地域の中で相互に協力し合い、事業所の規模により人的、物的、情報提供など協力の仕方は様々ですが、皆でこの困難を一緒に乗り越えられる地域づくりを引き続きおこなっていききたいと思います。皆様におかれましても、ワクチン接種まではもうしばらく時間がかかりそうですが、どうぞ健康にはご注意ください。

美味しいものを作る技術の先にある行方

コペルタ貴志園 鈴木 徹

コペルタ貴志園の食品加工現場には、実は、美味しいものを作る「技術」が隠されています。代表作「食パン」「お蕎麦」「お弁当」。それぞれの現場には、それぞれキャリアを積むスペシャルな職員が居て、その技術が駆使されています。そして、その一部を利用者が担う事による共同作業、職業指導と実践が積み重なり、利用者達は就職するレベルに達していきます。食品加工現場から就職される方は多く、戦力となった段階で就職し現場から抜けてしまう事から、却って戦力がダウン、そして振り出し（新たに指導育成）に戻ると云う「ジレンマ」に陥ります。それでも、利用者の人生を考え、温かく送り出してくれる現場が常に「美味しいものを作り続けられる」のは、やはり、揺るがないキャリアが在り続ける現場職員の力だと思っています。その技術を続けられるこの力が、コペルタ貴志園の美味しいもの



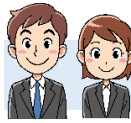
を作る「伝統」と「技術」そのものと言えます。後は、「売り方」と、今まで以上に地域へ拡大、そこに尽きると言えます。この冊子を読んで頂いた皆様、どうか、当園の食品加工ラインナップをご賞味下さい。本当に、美味しいです。

食材の余材をチャチャッと調理加工「コペルタキッチン」のご利用も、廉価で提供しておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

令和2年度採用職員のコメント

「一年を振り返って」 支援員 石川 由美子

新生活を向かえた2020年度は相手との距離感を考え取組む一年でした。
担当を持つことになり、今までとは違う視点で利用者さんと向き合うことになり、話し方や場面を工夫しながら、安心してもらえるような関係が築けるよう試行錯誤を継続中です。
また、コロナ渦ということで、人と人との距離間も意識して取組んでいました。現場内でみなさんが安心して過ごせるほど良い距離間を考えながら今の形が出来ています。
支援やコロナ対策の相談を先輩方と行ないながら過ごした一年は、チームワークの上では良い距離感や関係を築けていたのではないかと感じています。
今後とも、みなさんと協力しながら良い支援が行えるよう、取組んで行きたいと思っています。



令和3年度 新任職員紹介

所 属	氏 名	趣味・特技	抱 負
唐池学園	森田 優梨	音楽を聴くこと、 映画鑑賞、 バドミントン	唐池学園に来てまだ数か月しか経っていませんが、少しずつ子どもたちと信頼関係を築いていきたいと思っています。
	石合 萌悠	料理	子どもたちと楽しく過ごしながら職員として成長していけるように日々頑張ります！
	亀田 将基	Jリーグ観戦、 レザークラフト	子どもたちに寄り添える信頼関係を築いて、互いに楽しく過ごしていきたいと思っています。よろしくお願いします。
強羅暁の星園	椎野 由香莉	パズル	初めての事で不安や戸惑いもありますが、1日1日を大切に子ども達と関わっていききたいと思います。
ドルカス ベビーホーム	小玉 千晴	映画鑑賞	一人一人と向き合って楽しい時間を過ごしていきたいです。
	佐藤 香穂	散歩	子どもたちと信頼関係を築けるようがんばります。
	杉江 香緒里	ピアノ	赤ちゃんは初めてで慣れないことばかりですが、周りの職員の方たちの様子を見ながら、一年後にはできることが増えるようにがんばります。
	巻嶋 潮璃	国内旅行、 音楽鑑賞	子どもたちのために一生懸命がんばりたいと思います。よろしくお願いします。
	山下 美羽	出かけること、 話すこと	子ども一人一人の個性を活かせるようにがんばりたいです。
つばみ保育園	高梨 由捺	野球観戦 歌をうたうこと	子どもと保護者の気持ちにしっかり寄り添い、保育士としても社会人としても成長できるよう、明るく元気に頑張ります。
吉岡保育園	鮫島 明日美	ダンス 絵を描く事	子ども達の気持ちを受け止めながら信頼関係を築き、子ども達と一緒に成長したいと思います。
	杉浦 樹里	映画鑑賞 食べる事	子どもの気持ちに寄り添えるよう、日々頑張りたいと思います。
貴志園	辻 真実	お笑い鑑賞、 ゲーム	利用者さんが安心して過ごせるような環境作りに努めます。



今年4月1日、13名の新任職員が鶴飼理事長から辞令を交付されました（左写真）。辞令交付式の終了後は新任職員研修が行われ、理事長から「福祉人としての基本的な心得」を、田中理事から「人権擁護と虐待の防止」を学びました。最後には新任職員一人ひとりから「仕事をする上での夢・頑張りたいこと」について宣誓がありました。
初心を忘れずに今後の業務に取り組んでいただけると幸いです。

ある頭の古い施設長から民間従事者へ一言

前理事長 故 鶴飼 正男 先生

言いたいことは一杯あるが紙面の関係で一つだけ取りあげてみたい。

若い人の多くは、論語に云う「楽しみまたその中にあり」とゆう言葉を仕事に求めること及びその意義を認めたがらぬように見える。デートとレジャーだけが楽しみと錯覚しているようである。

私の所は児童養護施設であるが、例えば保母の仕事一つとってみても、高学年の児童を受け持てば、朝の起床のさせ方からして児童理解と集団指導技術がなければうまくゆくものでないことは、経験者は誰でも知っている。子供によっては、仮病を使ってなかなか起きようとしないし、保母をじらしたい為にわざとぐずぐずしているものもあるし、掃除をサボりたい為にトイレからなかなか出て来ないものもあるし、といった具合で、受持児童を自発的リズムカルに朝の出発から始めさせること自体思うようにゆくまい。

そういう時、前夜から明朝の起床時間になったら、あの子はこうであろう、この子はああであろう、その時はこういう出かたをし、こういう言葉をかけてやり、と己が脳裏に映画のようにその場のイメージを想像して現場に臨む。実際に当たってみればそれがうまくゆく時もあるし、まるで期待外れに終わる時もある。

そのうまく行ったときの楽しみは――要するに、仕事の上での己が主観と客観とが具体的に合わさって良い結果を生じ得た時のよろこびほど確かなものはないし、その積み重ねこそが、それこそ生き甲斐に通じるものであろう。

上役から認められ有頂天になり、同僚から悪口を言われて絶望したりという風に、とにかく他から振りまわされない自身の根がそこに生ずるだろうし、又その工夫は他に提示して大勢の検討なり批判なりに応えられるものになるだろうし、また同じ課題を己よりも遥かに上手にこなしてゆく人々への素直な敬意ともつながるし、上には上があるという実感で己の未熟さを 謙虚に受け取る態度も共に生じる筈である。

然も児童福祉の場合、その対象はテレビの部品や他人様の金勘定という相手が物であり然も単調な作業の流れというのでなく、同感も反撥も共に成長につながり、無限の可能性をもった人間そのものである。

余りに教育的といわれるかも知れないが、対象者の人格形成にそういう風にして決定的に影響を与え、又そのことが自分の人間性の向上と密接につながらざるを得ないような仕事こそ、まことに素晴らしいものと思われる。

子曰く、**疏飯を食らい、水を飲み、肱を曲げてこれを枕とす。楽しみ亦其の中に在り。**

「疏食(そし)を飯(くら)い水を飲み、肱(ひじ)を曲げてこれを枕とす。楽しみ亦(また)其の中に在り」

これは不遇の中でも楽しみを見出すという意味です。好むと違い、楽しむことで大変でしんどいと思うことがなく、疲れることもないということです。

一番確かな誇りは、給料の額でもなければ、職階の上下でもない筈で、自分というものの確認のしかた、され方だと思うが、それが対象者との交情なり、向上により、然も直接社会の前進につながっているという職場がざらにあるとは思われない。

特に民間の場合、公立と違って辞令一本で来たくもなかったのに来ざるを得なかったというのでなしに、自ら欲して参加した人々の集まりであり、意見の相違はあっても情熱の内容に相違がない所で、楽しく張り切って働けないのは、誠に勿体ない気がする。

勿論、低賃金でいいとは言わないし、かすみを喰って生きられる筈もないが、月給の高低が人生の第一義ではないことは確かである。

本当に素晴らしい仕事で疲れないなんてものはある筈がない。問題は疲れること自体より如何にそれが回復されて、次の張り切りにつながるべきかということにあると思う。

単に七時間とか八時間就業とかは児童収容の場合、大して意味はないように見える。むしろ「時を忘れて打ち込む」ほどに夢中になろうとすることが基本ではあるまいか。

壁間の時計を眺め眺め、生あくびをかみ殺しながら退庁時間を待っているようなだらけた時間の使い方よりも余っぽど素晴らしкаろうと思う。それに保母の八時間とか云っても、その時間がプロとして通用し、高い社会的評価に値する為には、あとの時間の何割かを真剣に勉強なり、工夫なりに当てなければ駄目だと思うが、その点でも一部の若い人々は、自由時間即ちレジャーであるべきと思ひこんでいるらしい。

若い人といろいろ話し合って感ずることだが、我々大正一ケタ生まれのものの多くが、自ら切り開かねば通じないデコボコ道だと人生を考えているのに、今の若い諸君は道とは本来舗装してあるもので、生き方とはそこを如何にうまくドライビングしてゆくことだと信じているようである。

節目となる今回の第70号では、前理事長の故鶴飼正男先生が、1970年10月26日発行の「福利かながわ」に寄稿した記事を掲載させていただきました。

もう50年以上前の記事ですが、現代においても、福祉のしごとに関わる多くの人々から共感を得られる内容ではないかと感じました。達成感には自らを癒し、成長させる効果があるということかと思います。ところで、今年の3月末をもって48年間の長きにわたりドルカスベビーホームに勤務された摩尼先生が施設長を退任されました。本当にお疲れ様でした。

摩尼先生は、雑品倉庫の第42号から第61号までの編集を担当されました。前号(第69号)では、雑品倉庫の名前の由来について寄稿していただきましたが、今後も唐池学園のレジェンドとして、雑品倉庫の編集等にアドバイスをいただけると幸いです。(広報研修委員会 庶務：勝俣浩之)





令和 2 年度決算報告（法人単位貸借対照表）

令和 3 年 3 月 31 日現在

（単位：円）

資産の部		負債の部	
科 目	当年度末	科 目	当年度末
流動資産	422,398,252	流動負債	154,516,062
現金預金	282,721,507	事業未払金	71,930,458
現金	782,199	事業未払金	71,930,458
普通預金	281,939,308	1年以内返済予定設備資金借入金	19,282,000
事業未収金	117,665,462	1年以内返済予定リース債務	806,520
事業未収金	117,665,462	未払費用	48,814
未収補助金	3,784,238	預り金	5,110
原材料	463,462	職員預り金	5,295,175
グランドール事業原材料	304,409	職員預り金	5,295,175
一服館事業原材料	73,019	仮受金	5,782
お弁当工房事業原材料	86,034	仮受金	5,782
立替金	12,202,697	賞与引当金	57,142,203
立替金	12,202,697	固定負債	335,888,440
前払金	2,875,097	設備資金借入金	182,262,000
前払金	2,875,097	リース債務	2,285,140
前払費用	2,098,389	退職給付引当金	151,341,300
仮払金	587,400	退職給付引当金	151,341,300
仮払金	587,400	負債の部合計	490,404,502
固定資産	2,455,445,868	純資産の部	
基本財産	1,215,236,091	基本金	618,305,701
土地	336,043,225	基本金	618,305,701
建物	879,192,866	国庫補助金等特別積立金	597,654,716
その他の固定資産	1,240,209,777	国庫補助金等特別積立金	597,654,716
土地	28,056,353	国庫補助金等特別積立金（整備時分）	547,410,010
建物	135,057,585	国庫補助金等特別積立金（償還補助分）	50,244,706
構築物	25,609,842	その他の積立金	844,539,254
機械及び装置	5,157,000	人件費積立金	307,700,000
車輛運搬具	14,059,512	工賃変動積立金	0
器具及び備品	27,996,872	施設整備等積立金	453,539,254
有形リース資産	3,091,653	保育所人件費積立金	28,000,000
権利	1,701,200	保育所施設整備積立金	55,300,000
ソフトウェア	1,423,646	次期繰越活動増減差額	326,939,947
退職給付引当資産	151,341,300	次期繰越活動増減差額	326,939,947
人件費積立資産	307,700,000	（うち当期活動増減差額）	48,191,770
工賃変動積立資産	0		
自動車リサイクル預託金	103,560		
差入保証金	2,072,000		
施設整備等積立資産	453,539,254		
保育所人件費積立資産	28,000,000		
保育所施設整備積立資産	55,300,000		
		純資産の部合計	2,387,439,618
資産の部合計	2,877,844,120	負債及び純資産の部合計	2,877,844,120

※その他の詳細は、法人のホームページ（URL：https://www.houjin-karaike-g.org/情報公開/）をご覧ください。

協定会会費・寄附金をくださった方々の紹介

◀期間：令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月まで（50 音順に掲載）▶

青木 勉 様、赤羽てい子 様、綾瀬市更生保護女性会 様、飯村慶一 様、五十嵐林三 様、
大津貞子 様、(株)大友電気 様、大貫明子 様、風間達史 様、勝俣幸子 様、
勝俣伸一 様、勝俣麻記子 様、加藤鮎子 様、川邊溪子 様、木村哲夫 様、
刑部久子 様、小泉晴俊 様、古塩幸子 様、(有)小菅自動車板金工業 様、齋藤政子様、
五月女美穂 様、佐瀬睦夫 様、佐藤美喜 様、島村益樹 様、女子学院 様、鈴木克政 様、鈴木典子 様、
大吉 大和柳橋店 様、田代明香 様、つぼみ保育園 職員一同 様、東神鋳螺工業(株) 様、中里良治 様、
中山 潤 様、新倉 豊 様、野々村カヨ子 様、橋本 保 様、服部和子 様、服部信一 様、濱里悦子 様、
原瀬克久 様、原瀬光子 様、半沢建設(株) 様、福岡令朗 様、福祉・医療コンシェルジュ(株) 様、
藤沢北教会 様、二見吉明 様、まちの司法書士事務所 司法書士 篠原康史 様、三上玲子 様、
三廻部一義 様、三崎たずる 様、三田隊 様、明月堂薬局 様、(株)MOTTERU 様、守矢栄美子 様、
八木英之 様・伸衣 様・亮羽 様、WORKER ANT(株) 様、(株)安江設計研究所 様、山口晴一 様、
その他たくさんの匿名の方々



◀施設からの報告▶

○児童養護施設 強羅暁の星園

ホテルインディゴ箱根強羅(総支配人山田智章)様より、今年 1 月か
ら、誕生日月に該当する全児童を毎月ランチにご招待をいただいております。温かなおもてなしと高級料理を目の前に、動揺しながらも年
下の子達に小声でテーブルマナーについて熱心に教える中高生の姿が
頼もしくも微笑ましい！！また、施設内音響設備の老朽化に伴う新規入替に向けて、7 月からクラウドファ
ンディング(マーケティングマネージャー石崎様)による支援金募集をいただいております。



ホテルインディゴ箱根強羅様のホームページはこちら▶<https://hakonegora.hotelindigo.com/>



○乳児院 ドルカスベビーホーム

神奈川県共同募金会 様*から配分を受け、園舎の排煙窓の修繕を
行いました。(左写真) これまで調子が悪かった排煙窓が直り、また、
スイッチも使いやすい位置に移りました。おかげ様で、職員一同安心
して使えるようになりました。安心して安全に施設を運営するため、
大切にに使わせていただきます。

法人及び各施設では、その他にも物品の寄附やご招待など、たくさ
んのご厚情をいただいております。特に昨年 4 月以降は、新型コロナウイルス感染対策
として、マスクや消毒液等の寄附をたくさんの方々からいただきました。

～ 誠にありがとうございました。唐池学園及び各施設一同、感謝申し上げます ～



*共同募金会とは、赤い羽根をシンボルとする共同募金を行う社会福祉法人で、社会福
祉法に基づき都道府県ごとに組織されています。

赤い羽根共同募金は、福祉施設の運営の一部を支えています。

※詳しくは ▶ www.akaihane.or.jp をご覧ください。

令和 3 年度 イベントのお知らせ

貴志園主催「しらさぎ祭」のご案内

令和 3 年 9 月に開催を予定していました「しらさぎ祭」は、昨年度同様新型コロナウイルスに係る諸状況を考慮し、参加者を施設利用者及び支援員に限定して開催することとなりました。

毎年、ご協力を頂いている皆様、お祭りを楽しみにされている皆様には大変申し訳なく思いますが、何卒ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。



唐池学園主催「第 48 回 唐池祭」中止のお知らせ

令和 3 年 10 月に開催を予定していました「第 48 回唐池祭」は、新型コロナウイルス感染拡大の防止と、参加者および来場者の皆さまの健康と安全の確保を最優先に考え、今年も止む無く中止とさせていただくことになりました。

唐池祭の開催を楽しみにして下さっていた皆さまには、誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

来年こそ！の開催を祈念し、また皆さまにお会いできることを楽しみにしております。



【貴志園】

一服館 【手打ちそば・うどん】Tel：0467-76-6206

営業時間：11：00～15：00 定休日：土曜日・日曜日・祝日
1 階の店内でお食事できます。(テーブル席 26 / カウンター席 9)
*現在、席数を減らして営業中です



Photo: 十割海老天せいろそば



グランドール【パン工房】Tel：0467-76-6206

営業時間：10：00～15：00 定休日：土曜日・日曜日・祝日
ご予約・配達も承っております!! ※ご注文・ご予約は、毎週月曜日～金曜日（祝日は除く）9:00～16:00
*現在、グランドール内でのお食事はお断りさせていただいています



左の写真は、平成 30 年 6 月 8 日にテレビ神奈川の取材を受けたときのものです。



役員等名簿（令和 3 年 7 月 1 日現在） *敬称は省略させていただきました。

区 分	氏 名
理事（6 名）	鶴飼 一晴（理事長）、摩尼 昌子、富岡 貴生、田中 晃、 笹野 つる子、加園 貴代子
監事（2 名）	長井 晶子、柏倉 正
評議員（9 名）	手塚 宏子、高松 邦夫、鈴野 敏、山口 晴一、今 壽夫、 森谷 充子、古塩 幸子、服部 和子、後藤 真一
評議員選任・解任委員（4 名）	長井 晶子、阿部 浩行、鈴木 美恵子、稲垣 美千子
第三者委員（3 名）	守矢 栄美子、天笠 律津子、長谷部 理恵

♪ 読者プレゼントのお知らせ ♪ ～ 雑品倉庫の感想・ご意見をお寄せください ～

A：高座豚手作りハムギフト・・・ 3 名様

B：貴志園冬のギフト・・・・・・・・ 5 名様

C：貴志園(一服館) お食事券・・・ 5 名様 ※2,000 円分(500 円券×4 枚)

応募方法 官製はがきに「希望する賞品の記号」と「住所」、「氏名」、「電話番号」、『雑品倉庫の感想・意見等』を必ずご記入のうえ、**事務局**までご応募ください。なお、『雑品倉庫の感想・意見等』は、次号の紙面で紹介させていただく場合がありますので、ご承知おきください。

応募〆切 **令和 3 年 11 月 17 日（水）消印有効**

※当選発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。



< 編 集 後 記 >

時間は、「今」を過ごしているときは意識することなく、終わりがあることを忘れてしまいがちです。しかし、時間は止まることなく流れていき、私たちは 1 年ごと、1 月ごと、1 日ごとに歳をとっていきます。

ドルカスベビーホームを築き上げ、その実践が高く評価され、日本の乳児院を引っ張って来られた摩尼園長が退職されました。この日が来ることを考えていなかったのも、一緒にいる時間をもっと大切にして過ごしておけば良かったと思えてなりません。とにかく、いなくなることが寂しい、その一言です。48 年という長い間本当にご苦労様でした。これからも理事として法人を支えてください。

広報・研修委員会 委員長 富岡 貴生

発 行 者 社会福祉法人唐池学園協力会

編 集 者 社会福祉法人唐池学園 広報・研修委員会 委員長 富岡 貴生

編集委員 小山 信、金木 亜裕美、三澤 奈津美、岩内 亜矢、名川 壮平、田村 舞奈、勝俣 浩之

事 務 局 〒252-1124 神奈川県綾瀬市吉岡 2 3 7 7 番地 口号 唐池学園内（担当：勝俣 浩之）

電話：0467-78-0514/080-4897-1867 Fax：0467-76-3006

E-mail：karaike-honbu@bz04.plala.or.jp URL：https://www.houjin-karaike-g.org/